

4段階学習過程（広野スタイル）

学習過程を固定することで、学習過程の見通しを持つことができ、主体的に学習することができるようになる。複式授業における間接指導の時間を充実させるために、全校的な取り組みとする。

学習過程	学習活動
つかむ（課題把握）	本時の課題をつかみ、解決への見通しをもつ。
考える（解決努力）	既習事項や新たな考えを生かし、問題解決に取り組む。 学び合いを通して考えを明らかにしたり、深めたりする。
わかる（まとめ・定着）	結果を交流し、学習を見つめ、学習事項がわかる。
つなげる（習熟・応用）	学んだことを振り返り、理解しようとする。 練習問題を通して、学習内容が定着する。 自己評価を通して次の学習への意欲をもつ。

※次の時間へとスパイラルで学習が進む。

◎複式学級における学習過程（例）

（1）ほぼ同じ割合で、直接指導を行う場合

下学年	教師のわたり		上学年
学習過程			学習過程
つかむ	直接指導	間接指導	つなげる
考える	間接指導	直接指導	つかむ
わかる	直接指導	間接指導	考える
つなげる	間接指導	直接指導	わかる

（2）同時間接指導を行う場合

下学年	教師のわたり		上学年
学習過程			学習過程
つかむ	直接指導	間接指導	つなげる
考える	間接指導	直接指導	つかむ
	同時間接指導	同時間接指導	
わかる	直接指導	間接指導	考える
つなげる	間接指導	直接指導	わかる

※割合は一定ではなく、学習内容によってどちらかの学年に重点が置かれ、直接指導の割合が多くなる場合もある。